

地域教育情報誌



チュウホク ドット コム

中北教育事務所

教育支援スタッフ

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013



中北の地域社会（community）の心の交流（communication）をめざします

Pickup!

ものづくりを知る

～穂坂小4・5年生×日本理化学工業 総合的な学習の時間～

10月10日、穂坂小学校（村田 久陽 校長）で、川崎市に本社を置く日本理化学工業株式会社による出張授業が行われました。授業では、「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」受賞歴のある同社の取り組みを教えていただきました。



環境にやさしい



日本理化学工業は、チョークや水溶性絵具（キットパス）などを製造する会社です。年間で約20万トン廃棄されているというホタテの貝殻からチョークを製造しています。また、水溶性絵具（キットパス）も、米ぬかから取れるワックスを原料とするなど、環境に配慮された製品づくりがされています。

人にやさしい

社員の約7割が知的障がい者であることも紹介されました。一人ひとりの得意を活かせるよう、作業工程や道具に工夫を凝らしています。

あるお寺のご住職からいただいた「人間の本当の幸せとは、愛されること、ほめられること、人の役に立つこと、人に必要とされること」という言葉をモットーに、社員の皆さんのが「働く幸せ」を大切にしているそうです。



子どもたちは、真剣なまなざしで話を聞き、タブレットにメモを取ります。それをもとに、積極的に質問をしたり、自分が調べたことをタブレットで共有してクラスに見せたりしながら、環境に配慮した製品づくりと人にやさしい社会のあり方について、学びを深めました。

自由に楽がき



授業の後半では、水溶性絵具（キットパス）を使った手形アートやウィンドウアートに挑戦。同社では、自由に描くことを「楽がき」と呼んでいます。子どもたちは自分の手を使ったり、窓に直接絵を描いたりと、目を輝かせながら取り組みます。秋空を背景に、窓いっぱいに広がる色とりどりの作品が完成しました。



今回の学習は、ものづくりの背景にある作り手の思いや工夫に触れ、働く幸せについても考える貴重な機会となりました。子どもたちの心に、やしさと創造の芽がぐんと育ったのではないでしょうか。



高校生が創った放課後の居場所

～北杜市「くるぐる」～



「地域とのつながりも大事にしたい」と語るメンバーたち。地域を盛り上げるイベントも構想中です。



この日の利用者は約20名。初めて利用する中学生に、高校生が優しく声をかけます。

入り口には、商店街の方からの差し入れのお菓子が並びます。建物はご厚意で貸していただいているそうです。にぎやかな様子を見に来る方もいて、割引セールなどのコラボ企画を行う店もあるなど、地域の大人たちが若者たちの挑戦を応援しています。

自分たちの思いを行動に移し、形にした高校生たち。その経験は大きな力になるでしょう。しっかりした口調で、活動のやりがいと次への思いを熱く語るその姿には、自信とたくましさが感じられました。

北杜市の商店街にある空き店舗では、夕方になると明かりが灯り、中高生たちが集まってきます。談笑したり、勉強に取り組んだりと、思い思いに過ごすこの場所は、放課後の居場所「くるぐる」。学校帰りの高校生や帰宅後の中学生が集まる、温かな空間です。

このスペースを企画・実現したのは、4名の甲陵高校生と北杜市地域おこし協力隊の大輪 崇人さん。「放課後に中高生が交流して過ごせる場所を作りたい」という生徒たちの思いと構想に大輪さんが伴走するかたちでプロジェクトが進められました。

オープンまでには、地元の中高生の声を集めたり、会議室での試行や運営方法の検討を重ねたりと、地道な準備が続きました。駅前での呼びかけなど、広報活動にも力を入れました。

その甲斐もあり、現在の登録者数は約100名。輪は確実に広がっています。運営メンバーも増え、大輪さんのサポートを受けながら、協力して活動しています。



静かに勉強する自習スペース。その奥の部屋では将棋の真剣勝負やカードゲームに笑顔が弾みます。

Pickup!

出会い語らい学び合い～ことぶき勧学院～



「ことぶき勧学院」をご存じですか？

ことぶき勧学院は、おおむね60歳以上の方々が、豊かなセカンドライフを目指して仲間とともに学び合う場です。県内には6つの教室があり、中北教室もそのひとつです。

人生100年時代を見据え、生徒の皆さんが、人との輪を広げながら、ともに学び、地域で元気に活躍することを目標として企画されています。卒業までの2年間で、さまざまな分野の講座が開講されます。講義だけでなく、県内施設の見学や地域貢献活動、班ごとの地域研究、学園祭など、活動も盛りだくさんです。



今回は、新しい出会いを楽しみながら、いきいきと学ぶ生徒たちの姿をご紹介します。

⌚ ことぶき勧学院 中北教室の一日（講義の場合）

- | | |
|----------------------|--|
| 9:00～ 受付・登校 | 日直班が笑顔でお出迎え。
生徒さんの持ってきた花が飾られ、教室を明るくしてくれます。 |
| 9:15～ 朝の会 | 朝の会までおしゃべりがつきないことも。
元気に勧学院歌を歌ったあとは、3分間スピーチ（毎回1名）。
趣味や日常の話に笑いが起きたり、学びがあったり。 |
| 9:30～ 講義（毎回異なる講師による） | 講義を聴く日もあれば、作業や活動の日もあります。
質疑応答では、質問や感想も多く、活気ある時間です。 |
| 12:00～ 帰りの会 | 旅行係やレク係、勧学院祭係からの連絡や先生のお話。
勧学院祭前は午後も練習に励むため、昼食タイム。
昼食を囲んで話もはずむ和やかな時間。 |



♪ 笑顔と拍手が響いた日

10月17日、YCC県民文化ホール小ホールにて、ことぶき勧学院の学園祭、「勧学院祭」が開催されました。

実行委員長の開会宣言で幕を開けたステージ。アトラクションは甲府工業高校の応援団。迫力ある演舞に圧倒されながらも、勧学院の生徒さんたちも負けていません。各教室で積み重ねてきた練習の成果を、堂々と披露しました。

フラダンスや「狙い撃ち」のダンス、寸劇など、どの発表にも教室ごとの工夫と団結が光ります。中北教室では、2年生が歌声喫茶の雰囲気で懐かしの歌を観客と一緒に歌い、1年生はトーンチャイムのやさしい音色を響かせました。会場は、温かな拍手と笑顔に包まれました。

どの生徒さんも発表後は晴れやかな表情。仲間との絆が、さらに深まった一日となりました。



#中北バトン



様々な立場から、子どもたちへの思い、地域への思いを寄せていただきました。



昭和町子どもクラブの活動紹介

令和7年度中北地区地域教育推進連絡協議会委員
昭和町子どもクラブ指導者連絡協議会 会長

長谷川 隆雄 さん

昭和町子どもクラブ指導者連絡協議会の活動に携わって、今年で3年目となりました。昭和町では、子どもクラブの大きなイベントとして「球技大会」と「子ども綱引き大会」があります。球技大会では、ミニソフトバレーボールとドッジボールを開催しています。今年は夏の熱中症対策として、開催時期を8月から10月に変更しました。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、多くの子どもたちが参加し、笑顔あふれる大会となりました。開催時期が変わっても、子どもたちの一生懸命な姿と輝く笑顔は変わらず、親睦を目的とした大会であっても、負けて涙する子の姿に胸が熱くなりました。綱引き大会は、低学年から高学年まで合同チームとなり地区対抗で、10月に開催しました。仲間との協力が求められる競技なだけに、子どもたちのかけ声や力を合わせる姿がとても印象的でした。

また、それ以外の活動では、山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会が開催している「夏休みふるさとランドカーニバル」において昭和町から多くの子どもたちが参加し、テント泊やナイトハイク、キャンプファイヤーなど貴重な体験をしてもらいました。二泊三日という短い期間ですが、子どもたちの自主性が発揮されたイベントでした。少子化や習い事の多様化などで参加人数は減少傾向にありますが、今後も子どもたちが「参加したい!」と思えるような魅力あるイベントや環境作りをしていきたいと思っています。

Pickup!

中北地区 地域教育フォーラム ~ 地域を愛し、地域に愛される人づくり ~



10月17日、敷島総合文化会館で「中北地区 地域教育フォーラム」が開催されました。教員や教育委員、保育所職員、保護者など約180名が参加し、地域ぐるみで教育について考える場となりました。

講演前のアトラクションでは、全国大会でも活躍する甲府商業高校ソングリーダー部が、笑顔と元気あふれる演技で会場を盛り上げてくれました。

「社員も会社も幸せに働くために」をテーマに、人間関係づくりの大切さを語ってくれたのは、センティス21 代表取締役社長 保坂剛志さん。社員同士が支え合える関係を目指して、風通しの良い職場環境の整備に力を注いでいるそうです。日々の誠実な取り組みとその根底にある思いを語っていただきました。

続いて登壇したのは、萌木の村 代表取締役社長 舟木上次さん。舟木さんは、ポールラッシュと優れたリーダーたちが集う清泉寮で育った経験が、これまでの歩みを支えてくれたと振り返りました。「これからは知識を持つだけでなく、それを活かせる人が求められる時代。感性を育て、志と意思を持ったリーダーとなる人材を育ててほしい」と、教育関係者に向けて願いを込めて熱く語ってくださいました。



紙面を飾ってみませんか

地域教育情報紙『中北.com』は、年6回、奇数月に発行し、中北地区400か所以上に配付しています。

学校や地域、諸団体での様々な取り組みをぜひ取材させてください。
問い合わせは右記まで、お気軽にお声がけください。

令和7年度『中北.com』No. 5
編集・発行 中北教育事務所
担当 花形 健一・江川 みづほ
〒407-0024 莩崎市本町4-2-4
電話 0551-23-3046